

第11回江南市市民協働・市民活動推進協議会 会議要旨

日時：平成22年8月30日（月） 15時～17時

場所：市民・協働ステーション 大会議室

1 議題

(1) 江南市地域まちづくり補助金について

◇平成22年度採択事業実施状況について

○平成22年度江南市地域まちづくり補助事業実施状況は別紙のとおり

◇平成23年度に向けた制度改正について

○平成23年度に向けた制度改正（案）については別紙のとおり

※ふりかえり講座は、基本的に事業者には参加していただくが、事業者以外でも誰でも参加できることとする。事業者以外の人目を入れてより深く事業を振り返る機会にする。

※「ふりかえり」というと「反省」の色が濃くなりがちだが、よい結果が出たことを認め合い、表彰するなどして、次の活動のやる気につなげたい。

※流れのある、わかりやすい制度案になった。来年度以降この制度で実施し、2～3年様子を見て浮かび上がってきた問題点を見直すと、江南市にあったよりよい制度が出来上がると思う。

※補助の対象となる経費のうち、(5)食糧費と(9)使用料・賃貸料を会議費やレンタル料などわかりやすく変更してはどうか。

⇒誤解を生まないか等、総合的に考えてよいネーミングにする。

※社会福祉協議会の「赤い羽根募金の助成金」をはじめの一步として始まった事業を、「①ひろげよう！」で展開・継続させ、「②つながろう！」で連携し、ネットワークを作って、地域協働を実現させる。

※市の補助金を利用して、申請書、報告書を書く訓練をしてもらい、団体の活動をアピールする力をつけて、市の補助金以外の助成金獲得にチャレンジしてもらいたい。

※過去の地域まちづくり事業を追跡調査し、その後の活動の相談を受けてはどうか。その結果を市HPに掲載したり、広報こうなんに1ページ特集を組んだり、事例集を作成するなどすると、市民に広く周知できると思う。

※単独団体でも申請が可能なコースができたことで、区・町内会にも地域まちづくり活動が広がるとよいと思う。

※「②つながろう！」2年目の補助金額上限について、20万円では今までの18万円（30万円×補助率60%）と2万円しか変わらないので、魅力はあまり変わらないのではないかと。30万円に補助率80%をかけた24万円を上限にしてはどうか。

(2) 市民・協働ステーションのあり方について

◇利用状況について・広める会主催の講座について

- ステーションをリニューアルし、貸棚・貸レターケースを設置したが、利用希望者は少なく、目に見えた活性化にはつながっていない。市内の NPO 法人に声を掛けて貸棚の利用をお願いしたところ、よい返事がもらえた。はじめは声掛けをして使っていただき、利用の仕方を見せる必要があるのではと思っている。そこから広がっていくことを期待したい。
- ステーションフリースペースで広める会主催の第 3 回話し合いの輪が開催される。回を重ねるごとに少しずつ参加者が増えており、ステーションへの関心が高まりつつあるように感じる。継続して取り組んでいきたい。
日時：9/6（月）13:00～ テーマ：「共存能力を高めよう」
- 地域まちづくり補助事業のその後を追うことを、広める会の次の活動にしてはどうか。追跡取材をし、事業の紹介をステーションに掲示したり、事業について話し合ったりすると、補助金制度、ステーション共に活性化を目指せると思う。

2 その他

- 8/31 に、ステーションのフリースペースを利用して協議会を開催する。環境をテーマに肩肘張らずに気楽に集まっている会なので、オープンに開催できたらと思った。機会があれば積極的にステーションを利用していきたい。
- 補助金制度の行事（講座や審査会、報告会など）には積極的に参加していきたい。その中で自分達がやれることを探していきたいと思う。